

頼りになる “省エネ” ソリューション

ネットワンパートナーズ「CFMS by BX-Office」

空調、照明等を制御・管理し オフィスを手軽にグリーン化

省エネ法の改正に伴い、オフィスのグリーン化に対する関心が高まっている。ビル単位などで大規模なシステムを構築しなければならない従来型のグリーン化とは異なり、ルータを利用した比較的簡便なソリューションがリリースされた。



ネットワンパートナーズ
齋藤普吾
代表取締役社長

きる理由は、NOPの成り立ちにある。親会社のネットワンシステムズは、1988年に創業した。わが国におけるネットワーク・インテグレータの先駆者として、シスコシステムズ社などの製品を販売。業務を順調に拡大して、2001年には東証一部上場を果たしている。

従来、こうしたオフィス・グリーン化システムは、ビル単位で設置されることが多かった。これを比較的低コストのルータを活用して、企業・拠点単位で実現できたのは、「20年以上にわたってネットワークを手掛けてきた実績と、すぐれたパートナー企業と連携できたから」と、齋藤普吾代表取締役社長は胸を張る。

ナー企業との共同開発を通じて顧客に高付加価値のソリューションを提供すること。ネットワークの設計、構築から保守、運用まで一貫して手掛け、CFMS by BX-Officeも、シスコシステムズ社のルータにユビテック社のアプリケーションを組み合わせるアイデアから生まれたものだ。



シリーズ
環境/CSR

ルータで ファシリティーの ネットワークを構築

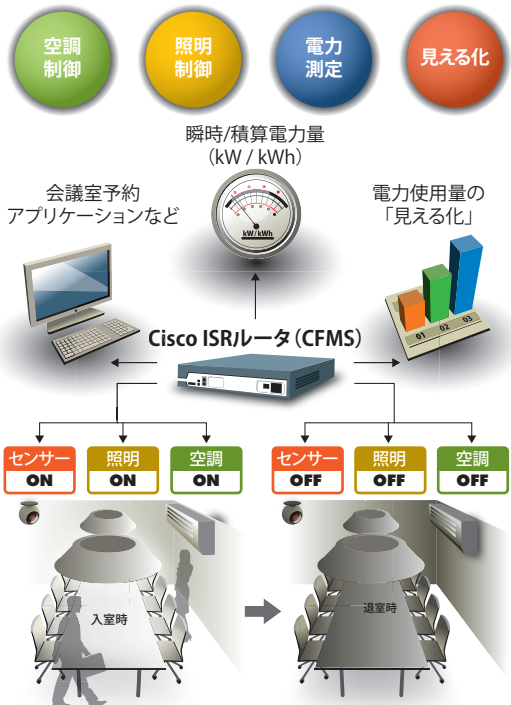
同システムは、照明や空調、センサーなどの設備制御系ネットワークと、消費電力管理や会議室予約などのアプリケーションを擁する業務系ネットワークを、ルータを介して統合したものだ。空調や照明などを一括制

改正省エネ法は、生産拠点を中心に考えられてきた省エネ対策を、オフィスにも拡大していく契機になりそうだ。オフィスの省エネといえば、たとえば空調温度の調整や照明器具の取り換えとこまめなスイッチオフなど、運用に頼る部分が大きくなりがち。長続きしないケースが多いのはこのためだ。そこで注目したいのが、ネットワークパートナーズ（NOP）が提供する省エネソリューションシステム「CFMS by BX-Office」である。

御し、会議室においては使用時に合わせて空調や照明を自動的に調節。そのうえ、使用電力量をリアルタイムで測定し、多様な分析を可能にする。もちろん、改正省エネ法に定められた報告書なども出力できる。拠点をネットワークで結べば、本部一括管理も容易だ。

ルータで空調や照明といったファシリティーのネットワークを構築する画期的なソリューションを提供で

ルータを核としたソリューションで アプリケーションとの連携も実現



昨年12月にリリースされたばかりだが、「エンドユーザーはもとより、オフィス・テナントにシステムを提供したいという設備関係の企業からも、多数の引き合いをいただいています」（齋藤社長）と、評価は高い。拡張性の高いシステムだけに、今後の展開からも目が離せない。

問い合わせ先 ネットワンパートナーズ株式会社

〒140-0002東京都品川区
東品川2丁目2番8号 スフィアタワー天王洲
TEL:03-6810-2470(代)
<http://www.netone-pa.co.jp>

